Red Hat Partner ワークショップ OpenShift CI/CD編 はじめの資料

レッドハット株式会社 エコシステムソリューションアーキテクト部 最終更新日:2023年7月



注意事項

- このウェビナーではチャットを多用します。アクセス先のURLなどはチャットに 貼り付ける事も多くありますので、チャットを確認できる様にしておいてくだ さい。
- ・ご質問はチャットで頂くことも可能です。その際は "全員" 宛にご質問ください。
- ・オンラインですので、中々皆様の進捗が分かりません。オペレーションについていけない場合は遠慮なくご連絡ください。

Red Hat Partner ワークショップ CI/CD 編本日のスケジュール

長時間となりますが楽しく実施しましょう!

タイムテーブル	開始	終了
講師紹介 + ラボ環境デプロイ	13:00	13:15
(講義) OpenShift 概要・開発・運用プロセスの自動化	13:15	13:45
(講義) OpenShift Pipelinesについて	13:45	14:15
休憩	14:15	14:25
(講義) OpenShift GitOpsについて	14:25	14:55
ラボ説明	14:55	15:05
(ラボ) Pipelines インストール & Pipeline Lab - 1/2	15:05	15:50
(ラボ) Pipeline Lab - 2/2	15:50	16:40
(ラボ) Tekton Triggers Lab (Option)	16:40	17:05
(ラボ) GitOps インストール & GitOps Lab	17:05	17:45
クロージング	17:45	17:50

Workshop スライド & ハンズオンコンテンツ

ドキュメントはそれぞれこちらにまとめています。

説明資料(座学資料)

https://github.com/RH-OPEN/ptp-openshift/tree/rev6/slides/cicd ダウンロード可能ですので、必要に応じてお手元にご準備ください

ハンズオンコンテンツ

https://rh-open.github.io/ocp-handson/openshift-services/index.html

ラボ環境状況確認



OPENTLC環境デプロイ

OPENTLCのアカウント作成状況

⇒ 作成できていない方はお知らせください

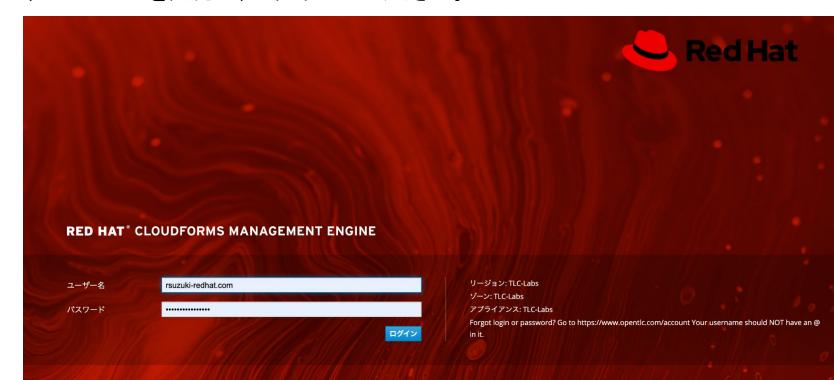
ラボ環境(Hand's on with OpenShift 4.10)のデプロイ



OPENTLCの環境のデプロイ

OPENTLC: https://labs.opentlc.com/

Username、パスワードを入力し、ログインしてください。



OPENTLCの環境のデプロイ

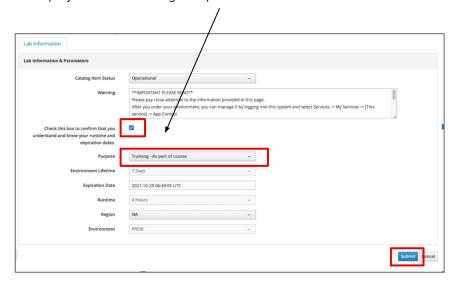
Step.1 以下の環境を選択してください。

OPENTLC

- -> サービス
 - -> カタログ
 - -> OPENTLC OpenShift 4 Labs
 - -> Hands On with OpenShift 4.10

Step.2 オーダーをしてください。

- チェックを付ける
- •Deploy の目的はTraining As part of course でOK



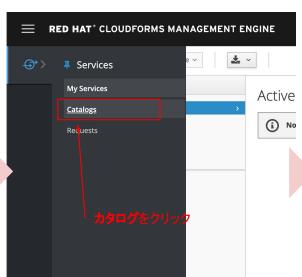


OPENTLCの環境のデプロイ Tips

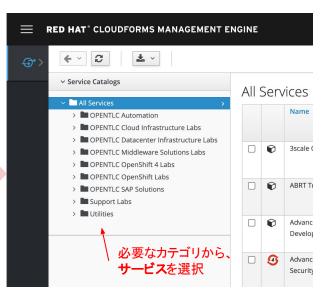
1. サービス

RED HAT* CLOUDFORMS MANAGEMENT ENGINE 🖒 Lifecycle 🗸 Services Activ Active Services Retired Services 1 > Global Filters Mv Filters こちらにマウスの カーソルを合わせて、 サービスのペインを表示 ※クリックはしない

2. カタログ



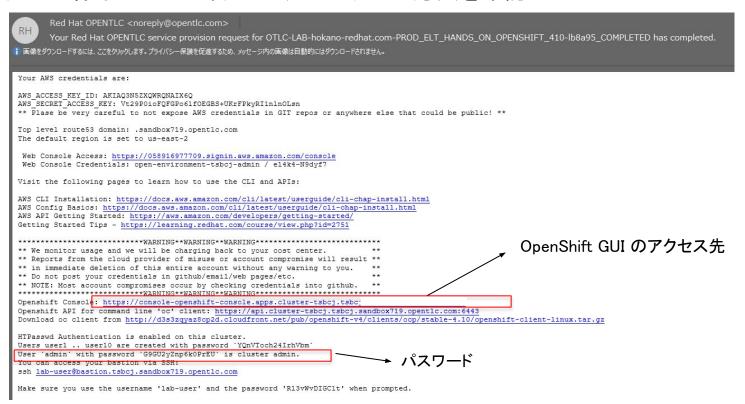
3. すべてのサービス





OPENTLCからのメールを確認(約60-90分後)

以下の様なメールが届くこと及びアクセス方法を確認



OPENTLC環境へのアクセス情報

デプロイ時に届いたメールにて環境へのアクセス情報が記載されています

OpenShift Console: https://console-openshift-console.apps.cluster-56bgl.56bgl.sandbox704.opentlc.com
OpenShift WebコンソールのURL OpenShift API for command line 'oc' client: https://api.cluster-56bgl.56bgl.sandbox704.opentlc.com:6443
Download oc client from https://console-openshift-client: https://console-openshift-client: https://console-openshift-client: https://console-openshift-client-linux.tar.ga
HTPasswd Authentication is enabled on this cluster.
Users user1 .. user10 are created with password 'NmyuoNLQRyCyPbu7'
User 'admin' with password '139DSJaWWxxzlc7s' is cluster admin.
You can access your bastion via SSH:
ssh lab-user@bastion.56bgl.sandbox704.opentlc.com
SSH接続コマンド

Make sure you use the username 'lab-user' and the password 'yUjOEUjdUZbr' when prompted.
SSH接続用パスワード



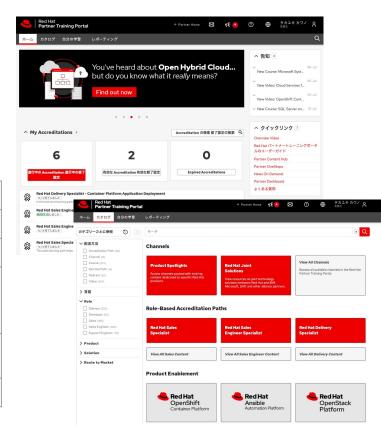
セルフラーニングツールのご紹介



Red Hat Partner Training Portal 概要

- ・パートナー様向けのeラーニングシステム
- 3つのロール別のコンテンツを用意
 - 営業
 - o セールスエンジニア
 - o デリバリー
- コンテンツのカテゴリは以下の6つ

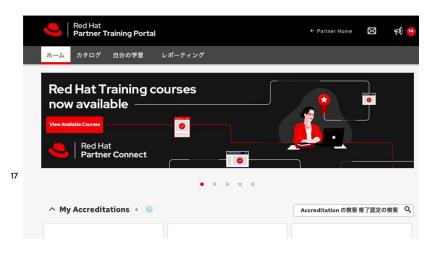
Course	Eラーニングのコース(日本語も用意)
Podcast	音声コース
Video	動画コース
Accreditation	ロール、製品別に用意された複数コースからなる 認定用セット。全てのコースを完了すると認定 となる(Red Hat Training 認定とは別)
Channel	技術やサービスで纏められた各種コンテンツの セット。サブスクライブして利用
Elective Path	営業、SE向けのコースのセット





Partner Training Portalの拡充

これまで弊社の有償トレーニングサービス(Red Hat Training)で提供されていた一部のコースについて、2022/3よりPartner Training Portalでも公開が行われています



公開されたコースの例

- Red Hat Enterprise Linux Automation with Ansible (RH294)
- Red Hat System Administration 1 (RH124)
- Red Hat OpenShift I: Containers & Kubernetes (DO180)

など

※ 公開内容は座学資料・ラボ環境のみ。対面でのトレーニングやエキスパートによるビデオ、認定試験は有償のままとなります



無償で利用可能なレッドハットラーニングコース(日本語有)

Application Development Courses		
Cloud-Native Integration with Red Hat Fuse (AD221)	32h	
Developing Application Business Rules with Red Hat Decision Manager (AD364)		
Red Hat AMQ Administration (AD440)	16h	
Developing Event-Driven Applications with Apache Kafka and Red Hat AMQ Streams (AD482)		

Cloud Courses	
Red Hat OpenStack Administration 1: Core Operations for Cloud Operators (CL110)	40h
Red Hat OpenStack Administration 2: 32h Day 2 Operations for Cloud Operators (CL210)	
Cloud Storage with Red Hat Ceph Storage (CL260)	

Platform Courses		
Red Hat System Administration I (RH124)	40h	
Red Hat System Administration II (RH134)	40h	
Red Hat Enterprise Linux Automation with Ansible (RH294)		
Red Hat Virtualization (RH318)	40h	
Red Hat Enterprise Linux 8 New Features for Experienced Administrators	32h	

DevOps Courses			
Introduction to OpenShift Applications (DO101)	8h	Red Hat OpenShift Installation Lab (DO322)	16h
Red Hat OpenShift I: Containers & Kubernetes (DO180)	24h	Red Hat OpenShift Migration Lab (DO326)	24h
Cloud-Native API Administration with Red Hat 3scale API Management (DO240)	32h	Red Hat OpenShift Service Mesh (DO328)	24h
Red Hat OpenShift II: Operating a Production Kubernetes Clusters (DO280)	24h	Enterprise Kubernetes Storage with Red Hat OpenShift Data Foundation (DO370)	32h
Red Hat OpenShift Development II: Containerizing Applications (DO288)	32h	AAP 2.0 Developing Advanced Automation with Red Hat Ansible Automation Platform (DO374)	32h
Red Hat OpenShift Administration III: Scaling Kubernetes Deployments in the Enterprise (DO380)	32h	Red Hat Cloud-Native Microservices Development with Quarkus (DO378)	32h

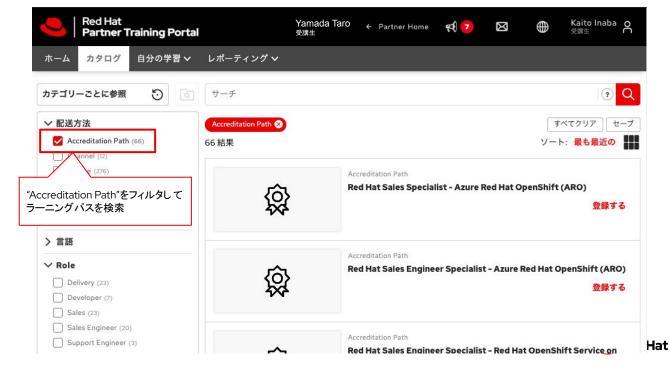


PTPのAccreditation(認定)取得について

Red Hat Partner Training Portalでは、ラーニングパスに基づいた複数のコースの受講を完了することで対象プロダクトのセールス / デリバリー能力を示す Accreditation (認定)を取得することができます

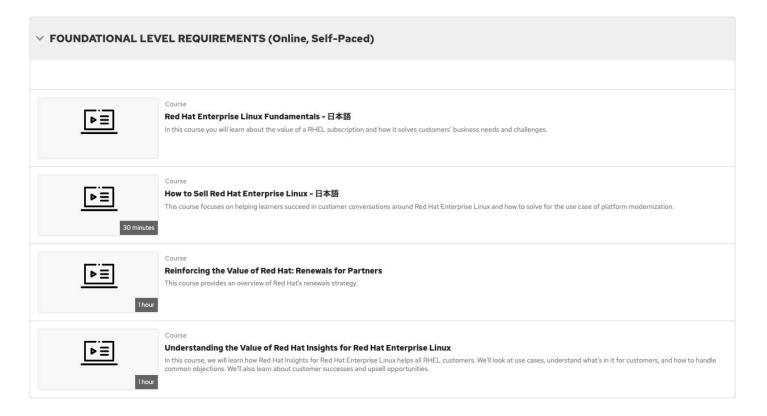


▶ Red Hat セールスエンジニア・スペシャリスト



Accreditation Pathの例

Red Hat Sales Specialist - Red Hat Enterprise Linux





20

Accreditation取得の例(証明書)

Accreditationを取得すると以下のような PDFファイルを証明書として取得できます



Red Hat Accredited Professional

The Red Hat Partner Training Portal offers defining curricula on selling and delivering solutions. The owner of this diploma has demonstrated comprehensive, applied knowledge and a deep understanding of Red Hat products and solutions.

Name Hiroshi Okano	
Accreditation Red Hat Sales Engineer Specialist - Autom	nation
Date 30 -09-22	
*Valid for 2 years from completion date	



2

Delivery向け - インフラエンジニア:初級



学習コンテンツ名: 『Red Hat Delivery Specialist - Container Platform Deployment』

完了目安: 68 時間 リンク: Link

● 含まれるコース

Red Hat OpenShift 4 Foundations - 日本語

セルフペース

無料

日本語

このコースでは、Kubernetes クラスタにデプロイするためのコンテナの構築と管理について学習します。このコースは、コンテナ管理に関する中核的な知識とスキルの構築を支援します。

このコースは、コンテナ、Kubernetes、および Red Hat OpenShift Container Platform の実習を通して、コンテナ管理に関する中核的な知識とスキルを習得することを目的としています。

Red Hat OpenShift I: Containers & Kubernetes (DO180) v.4.10

セルフペース

無料

日本語

このコースでは、Kubernetes クラスタにデプロイするためのコンテナの構築と管理について学習します。このコースでは、コンテナ、Kubernetes、および Red Hat OpenShift Container Platform の実地体験を通じて、コンテナ管理の中核となる知識とスキルを身に付けることができます。開発者、管理者、サイトの信頼性エンジニアなど、さまざまな役割に必要なコンテナ、Kubernetes、およびRed Hat OpenShift Container Platformを実際に体験することで、コンテナ管理の中核となる知識を習得します。

Red Hat OpenShift Administration II: Operating a Production Kubernetes Cluster (DO280) v.4.10

セルフペース

無料

日本語

Red Hat® OpenShift® Container Platform の設定、トラブルシューティング、および管理方法を学習します。Red Hat® OpenShift® Container Platform を設定、トラブルシューティング、および管理する方法を学習します。このハンズオン、ラボベースのコースでは、次のことを学びます。クラスタの正常なインストールの確認、日々の管理、およびコンテナ化されたアプリケーションコンテナ化されたアプリケーションの展開のトラブルシューティングを行います。

Delivery向け - インフラエンジニア:初級



学習コンテンツ名: 『Red Hat Delivery Specialist - Container Platform Deployment』

完了目安: 68 時間 リンク: Link

● 含まれるコース

Red Hat Advanced Cluster Management for Kubernetes Foundations

セルフペース

無料

英語

このコースでは、Kubernetes クラスタにデプロイするためのコンテナの構築と管理について学習します。このコースは、コンテナ管理に関する中核的な知識とスキルの構築を支援します。

このコースは、コンテナ、Kubernetes、および Red Hat OpenShift Container Platform の実習を通して、コンテナ管理に関する中核的な知識とスキルを習得することを目的としています。



Delivery向け - インフラエンジニア:上級



学習コンテンツ名: 『Red Hat Delivery Specialist - Container Platform Deployment II』

完了目安: 92 時間 リンク: Link

● 含まれるコース

Delivery向け - 初級

+

Red Hat OpenShift Administration III: Scaling Kubernetes Deployments in the Enterprise (DO380)

セルフペース

無料

英語

Red Hat OpenShift Administration III: Scaling Kubernetes Deployments in the Enterprise (DO380) は、企業における OpenShift® クラスタの計画、実装、管理に必要なスキルを拡張するものです。大規模なデプロイメントを実現するために、増え続ける関係者、アプリケーション、ユーザーをサポートする方法について学びます。このコースは、Red Hat® OpenShift Container Platform 4.6をベースにしています。

Multicluster Management with Red Hat OpenShift Platform Plus (DO480) v2.4

セルフペース

無料

英語

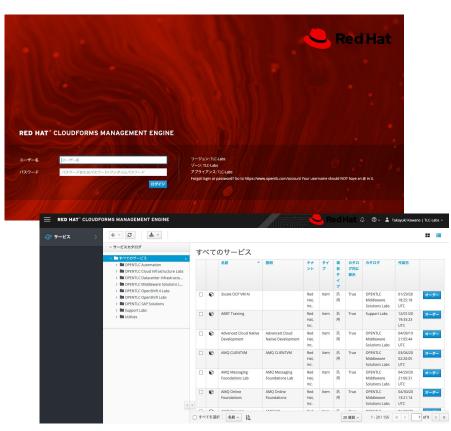
Red Hat OpenShift Platform Plusによるマルチクラスタ管理では、OpenShiftクラスタのフリートで実行される、多様なアプリケーションのポートフォリオを維持するために必要なスキルを学びます。アプリケーションは、容量と重要度によって決定される配置ルールに従い、クラスタ構成はガバナンスとセキュリティポリシーに準拠し、すべてDevOpsの原則に従って自動化されます。



Red Hat Partner Training Portal ... OpenTLC

https://labs.opentlc.com/

- 学習コース中のハンズオンにて使用されるラボ環境
- ◆ クラウド上でRHELやOCP、Ansible導入済みのサンド ボックス環境を提供
 - パートナー様内の検証用途であれば PTPコースでの ハンズオン以外のご利用も可
- ログインのためにRed Hat Connect のアカウントとは別のアカウントが必要
 - ハンズオンが含まれるコースを受講開始すると自動で アカウントが発行される (メールアドレスの@を一に変えたものがユーザー名となる)
 - パスワードの設定や再設定等はこちら https://account.opentlc.com/account/
- ログインするとカタログが表示されるので、必要なサービスを選んで「オーダー」をクリックして払い出しを実行





パートナー様向けポータル - https://red.ht/pej

~ Red Hat Partner Enablement Japan!! ~

Red Hat の情報 & 無償ワークショップを提供

2020年10月オープン(メンバー約600名)!!

- 各種イベント(数回/月)
 - ハンズオンワークショップ (OpenShift, Ansible他)実績:31回 / 延べ 約 500人 の参加者
 - 勉強会 (Partner Training Portal の活用方法など)
 - Red Hat イベント開催後のサマリ提供..etc
- Partner One-Stop (有用コンテンツへのリンク)
 - アカウント作成方法
 - 製品情報/戦略や顧客へのアプローチ用資料
 - 事例集(業種別・総合)
 - サブスクリプションの数え方
 - ラーニングパス(効率的な学習方法)
 - 製品マニュアルや製品仕様へのリンク





パートナー様向けポータル - https://red.ht/pej

~ Partner One Stop ~

製品情報や事例など有用なリンク情報提供開始!

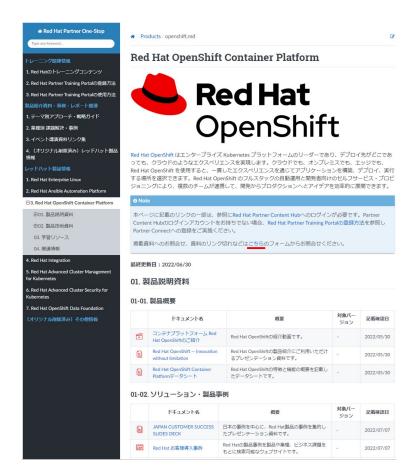
[Partner One-Stop]

https://rh-open.github.io/



有用なコンテンツ満載です。Red Hat について調べたい場合はまずここをご確認ください。

※コンテンツ閲覧には パートナーコネクトIDが必要となります。



Thank you

Red Hat is the world's leading provider of enterprise

open source software solutions. Award-winning

support, training, and consulting services make

Red Hat a trusted adviser to the Fortune 500.

